

第113号

ひこね 市議会 だより



平成23年度一般会計予算 367億円 可決
特別会計 222億128万3千円・企業会計 139億1,146万円



写真は、増改築された
市立高宮小学校の校舎

2月定例会のあらまし

2月定例会は、2月28日から3月22日までの23日間の会期で開催し、提出された議案審議のほか、各会派の代表者および個人からの質疑、一般質問を行いました。

今期定例会に提出された市長提出議案は36件で、いずれも原案のとおり可決、同意、適当と認めました。また、委員会提出議案と議員提出議案はそれぞれ1件で、いずれも原案のとおり可決しました。

- 2月定例会の結果2~4
- 予算特別委員会の審査状況5
- 常任委員会の審査状況6
- 代表質問7~9
- 個人質問10~12
- ほかにもこんなことを質問しました ..12
- 議会改革特別委員会中間報告13
- 行政視察報告13
- 議場コンサート開催14

2 月定例会

当初予算関係 = いずれも可決

件名	概要
平成23年度（2011年度）彦根市一般会計予算	予算額：367億円 ※対前年度比 1.7%増
平成23年度（2011年度）彦根市国民健康保険事業特別会計予算	予算額：92億5,595万円 ※対前年度比 5.1%増
平成23年度（2011年度）彦根市下水道事業特別会計予算	予算額：57億3,061万8千円 ※対前年度比 0.6%減
平成23年度（2011年度）彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	予算額：5,644万2千円 ※対前年度比 5.5%減
平成23年度（2011年度）彦根市農業集落排水事業特別会計予算	予算額：3億642万円 ※対前年度比 2.1%減
平成23年度（2011年度）彦根市介護保険事業特別会計予算	予算額：59億7,059万5千円 ※対前年度比 4.4%増
平成23年度（2011年度）彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	予算額：8億8,125万8千円 ※対前年度比 8.6%減
平成23年度（2011年度）彦根市立病院事業会計予算	予算額：104億917万1千円 ※対前年度比 0.7%増
平成23年度（2011年度）彦根市水道事業会計予算	予算額：35億228万9千円 ※対前年度比 5.5%増

補正予算関係 = いずれも可決

件名	概要
平成22年度（2010年度）彦根市一般会計補正予算（第7号）	補正予算額：15億4,012万2千円 きめ細かな交付金活用事業、住民生活に光をそそぐ交付金活用事業、病院事業会計負担金、財政調整基金積立金等の増額補正、子ども手当支給事業等の減額補正および繰越明許費
平成22年度（2010年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：2億1,852万6千円 一般被保険者療養給付費等の増加や、特定健康診査等事業費等の減少に伴う補正
平成22年度（2010年度）彦根市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	補正予算額：1億1,178万9千円（減額） 流域下水道事業費市町負担金その他事業費等の確定による増減の補正および繰越明許費
平成22年度（2010年度）彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	補正予算額：2,800万円 県補助金の増額による事業前倒しに伴う増額補正
平成22年度（2010年度）彦根市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	補正予算額：6,257万2千円（減額） 各サービス給付費等の増減に伴う補正
平成22年度（2010年度）彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：1億325万9千円（減額） 後期高齢者医療広域連合納付金の確定に伴う減額補正
平成22年度（2010年度）彦根市立病院事業会計補正予算（第1号）	補正予算額：361万3千円 不納欠損処分該当者の新たな判明による増額補正
平成22年度（2010年度）彦根市水道事業会計補正予算（第3号）	補正予算額：5,200万円（減額） 拡張事業費および第5次拡張事業費に係る工事請負費確定による減額補正

2 月 定 例 会 の 結 果

条例関係

条例の制定 = いずれも可決

件 名	概 要
平成23年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例案	本市が直面する厳しい財政状況から、平成23年度における市長（10%）、副市長および教育長（それぞれ5%）の給料月額を削減するもの 市 長 925,000円→832,500円 副市長 770,000円→731,500円 教育長 705,000円→669,750円
彦根市伝統的建造物群保存地区保存条例案	本市の伝統的建造物群およびこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、本市の都市計画に伝統的建造物群保存地区を定めるに当たり、文化財保護法の規定に基づき、制定するもの
彦根市立幼稚園保育料徴収条例案	地方自治法に基づき、市立幼稚園における保育終了後の預かり事業について、使用料（保育料）等を規定するもの 【預かり広場使用料】 園児1人につき1回200円

条例の改正 = いずれも可決

件 名	概 要
彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案	企画振興部および市民環境部の分掌事務を改め、水道部と下水道部を統合し上下水道部とするためなど所要の改正を行うもの
彦根市副市長定数条例の一部を改正する条例案	副市長の定数を2人から1人に改めるもの
彦根市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	人材の確保が難しい看護師等の待遇の改善を図るため、所要の改正を行うもの
彦根市市税条例等の一部を改正する条例案	納期前納付に係る報奨金を廃止し、併せて普通徴収に係る個人の市民税、固定資産税、都市計画税および軽自動車税の納期の始期を1日にするもの
彦根市特別会計条例の一部を改正する条例案	後期高齢者医療制度への移行に伴い廃止されることとなった老人保健医療制度に係る特別会計の設置期間が平成23年3月31日をもって終了するため、本市の当該特別会計を廃止するもの
彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例の一部を改正する条例案	放課後児童クラブの土曜日の利用を望む声が多くあるため、平成23年4月1日から土曜日も開所し、同年7月1日から土曜日の利用に対する負担金を徴収するに当たり、負担金額を定める表を改めるもの
彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	病院の診療科目を列挙する規定について、現状に合わせて科目を追加するもの 追加科目：緩和ケア科、病理診断科

人事案件 = いずれも同意・適当と認める

件 名	概 要
彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて＝同意	小松 照明（こまつ てるあき）氏（西今町）＝新任
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて＝適当と認める	堤 博子（つつみ ひろこ）氏（船町）
	深井 恵純（ふかい えじゅん）氏（田附町）
	若杉 一夫（わかすぎ かずお）氏（平田町）

その他 = いずれも可決

件 名	概 要
彦根市総合計画基本構想を定めることにつき議決を求めることについて	市の総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を策定するもの
第三次彦根市国土利用計画を定めることにつき議決を求めることについて	長期にわたって安定した均衡ある土地利用を確保することを目的として、市の区域における国土利用に関し必要事項を定めるもの
住宅新築資金等貸付金の償還に係る権利の放棄につき議決を求めることについて	住宅新築資金等貸付金の償還に係る権利を放棄することについて、地方自治法第96条第1項第10号の規定により、議会の議決を求めるもの
市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	市道の整備に伴い、廃止、認定を行うもの 廃止：8路線、認定：33路線
「ひこにゃん」の商標権および著作権の管理上必要な訴えの提起等につき議決を求めることについて	商標権および著作権に基づいて類似イラストを付した商品の製造・販売等の差止め（禁止）および損害賠償の請求をするもの

報告

件 名
損害賠償の額の決定について（3件）

議員提出議案（条例関係） = 可決

件 名	概 要
彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案	議会運営委員会の委員定数を6人から5人に減員するもの

委員会提出議案（条例関係） = 可決

件 名	概 要
彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案	常任委員会数を現行の4委員会から3委員会に改め、委員定数を各8人とするもの

予算特別委員会の審査状況

2月定例会では、3月10日、11日、14日および15日に委員会を開催し、当初予算関係では、平成23年度一般会計予算ならびに国民健康保険事業・下水道事業・休日急病診療所事業・農業集落排水事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業の各特別会計予算および病院事業・水道事業の各企業会計予算の計9議案、補正予算関係では、平成22年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・企業会計補正予算の計8議案の合計17議案の審査を行いましたので、その概要をお知らせします。

主な質疑

【当初予算関係】

（一般会計歳入）

★実質公債費比率の引下げを図ったことによる公共事業への影響

★市税収入・法人税収入の増収見込み

★荒神山自然の家使用料の算定根拠

（一般会計歳出）

★議員年金給付費負担金の積算の基礎、荒神山自然の家の修繕料の概要、消防救急隊の人員増の予定

「市民文教」

★環境保全対策費のリース電気自動車の活用、子ども手当支給事業の概要、生活扶助費の内訳、粗大ごみ処理場費の修繕料の概要、職員の時間外勤務手当の内訳、教育振興費の法内扶助費、法外扶助費の内容、伝統的建造物群保存対策事業の進捗状況、スクールランチの利用促進

「産業建設」

★工場等設置奨励金による雇用見込み、城まつりパレード・彦根大花火大会等観光振興事業の内容、立花船町線街路事業の進捗予定、東北関東大震災被災者の受入体制

「福祉病院」

★老人クラブ助成事業の内訳、放課後児童クラブ運営事業の利用状況、子どもセンターの備品購入費用、子宮頸がん等予防接種事業の接種状況

（特別会計）

★国民健康保険事業特別会計での一般会計繰入金の算定根拠

★下水道事業特別会計予算での事業の進捗状況・水道部との統合によるメリット
★介護保険事業特別会計予算での要支援者に対する事業予定と地域包括支援センターのあり方

（企業会計）

★市立病院事業会計予算での看護師等奨励金の詳細・看護師手当の内訳

【補正予算関係】

★地域包括支援センターの運営体制

★不納欠損の処理

討 論

全議案に対する賛成討論

4人、平成23年度一般会計予算および国民健康保険事業特別会計予算に対する反対討論1人

採決結果

すべて原案のとおり可決

常任委員会の審査状況

2月定例会では、3月16日に福祉病院および産業建設、17日および22日に総務、17日に市民文教の各常任委員会を開催し、議案の審査を行いましたので、その概要をお知らせします。

審査

条例改正2件

主な質疑

★放課後児童クラブの土曜日開設の利用状況、開設時間および開設による人員確保の有無、児童の送迎ができない利用者への対応、指導

福祉病院常任委員会

討 論

員の資格の有無 など

採決結果

放課後児童クラブ負担金徴収条例の一部改正議案について賛成討論、反対討論それぞれ1人
すべて原案のとおり
可決

審査

条例新設1件、条例改正4件、計画の策定・

訴えの提起に係る議決案件3件の合計8議案

主な質疑

★副市長1人での職員への負担、特殊勤務手当改正の考え方・改革プランとの整合性、前納報奨金廃止に向けての現状把握、ひこねに

総務常任委員会

討 論

んの訴訟に至る経過・勝算 など

採決結果

職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正議案について賛成討論1人、市税条例等の一部改正議案について反対討論1人
すべて原案のとおり
可決

審査

権利の放棄・市道路線の廃止および認定に係る議決案件2件

主な質疑

★財産からの回収の有無、償還期間および償還計画

産業建設常任委員会

★路線の廃止および認定の管理コスト、野田山町における開発帰属による市道路線の認定の考え方 など

採決結果

すべて原案のとおり
可決

審査

条例新設2件、条例改正1件の合計3件

主な質疑

★都市計画区域と準都市計画区域の違い、市長および教育委員会と伝統的建造物群保存審議会の関係、審議会委

市民文教常任委員会

員の人選、建物の増改築の市の裁量

採決結果

★市立幼稚園での預かり広場と保育の違い、保育料の徴収方法 など
すべて原案のとおり
可決



▲曾根沼から見た荒神山

新 公 政 会

質問者 西川 正義

所属議員：10名

問 彦根市の南部に位置する荒神山一帯には古くから多くの神社仏閣が点在し地域住民のよりどころとして市民に親しまれているところである。先ごろ、荒神山古墳が国の史跡指定されたところであり他にも多くの古墳群も確認されている。また、荒神山運動公園、自然の家、子どもセンター、曾根沼公園や彦根梨園、柿園等荒神山周辺は観光スポットの宝の山である。今後の市の取組みを伺う。

問 現政権における施策の中で「元氣な日本の復活」に向け雇用政策を重点とした経済成長戦略を打ち出し、地方においても切れ目のない景気対策、地域経済の活性化や雇用の促進対策が求められるところであるが、国の政局の混迷による予算関連法案の成立は不透明であり地方自治体への影響も危惧されるところである。このような状況下において本市の新年度予算編成の市長コンセプトを伺う。

Q 荒神山一帯を彦根の観光スポットに

Q 新年度予算案の市長のコンセプトは

A 豊かな観光資源の利活用に努める

A 更なる財政の健全化に向け取り組む

答 荒神山古墳は、古墳時代前期末に築かれた全長124mの古墳で県下第2位の前方後円墳である。今後、荒神山の保存管理計画を策定し活用等の方針を定めていくが、例えば往時の復元図等を作成し当時の姿がイメージできる手法等を検討するなど、観光資源の活用に努めたい。また次年度は、市制75周年記念事業として荒神山麓の曾根沼干拓農地を活用した田んぼアートを実施するなど、積極的なPRをしていく。

答 住みよいまちづくりを目指して「次世代育成支援対策事業」および「定住自立圏構想推進事業」を重点として取り組み、特に昨年3月に「湖東定住自立圏共生ビジョン」を策定したところであり、本市は1市4町の中心市として圏域全体を視野に入れ豊かで多様なライフスタイルの構築に努め先駆的な取り組みを促進していく。さらに地域雇用創出、経済回復対策事業等に積極的に取り組むこととしている。

- ほかにもこんなことを質問しました
- ☆306号バイパスの整備促進について
 - ☆彦根市の今後の人口推移について
 - ☆一級河川の改修整備と県の方向性について
 - ☆環境こだわり農業の継続について
 - ☆彦根市の各商店街の課題解決と活性化について
 - ☆本市の地震対策について





新政ひこね

質問者 安藤 博

所属議員：5名

問 県事業として計画している国道306号バイパス道路は、観光彦根を標榜する本市にとって多くの観光客が来彦される最重要道路であり早期完成が望まれる。現在の進捗状況について問う。次に、新規事業として街並みを体現できる観光の道軸線を確立するとして「さんぽ道修景整備事業」を予算化されたが、街中を散策する観光客の期待も大きいと考えるが、事業内容について問う。

問 平成23年度予算編成にあたり、22年度と同様「次世代育成支援対策事業」および「定住自立圏構想推進事業」を重点化としているが、その方針根拠について見解を求めたい。次に、市税収入は景気の回復基調により、個人・法人ともに大幅な増額となっている。特に、法人市民税は対前年度4億3887万円の増で、伸び率は48・1%となっている。法人市民税収入の積算根拠について問う。



国道306号バイパスの進捗状況は



平成23年度の重点事業は何か？



現在、評価設計と地質調査を実施中



次世代育成と定住自立圏を重点化

答 平成28年度の供用開始を目標に、国道306号原町交差点から国道8号古沢交差点までの延長1700mで、内トンネル区間が約1135mの計画で、事業費約48億円が推進中である。現在、道路設計と地質調査を実施している。次に修景整備は、城下町の町割りを残す「まちなか」へ誘導を図るため、外馬場公園から袋町界隈へのルートを自然色舗装等で整備し、町歩きの見学性を高める。

答 重点化の1つ「次世代育成支援対策事業」は、急速な少子化の進行や家庭および地域を取り巻く環境の変化を考慮し、「定住自立圏構想推進事業」は、中心市として常に圏域全体を視野に入れて方針根拠とした。次に、法人市民税収入の積算根拠は、企業収益の改善により平成22年度決算見込額が当初予算額約9億1千万円を上回り、約12億6千万円となるため7%程度の増額予算とした。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆彦根市の福祉政策に関して
- ☆彦根市立病院の医師・看護師確保について
- ☆彦根市の観光行政全般について
- ☆新総合計画に関して
- ☆彦根市の男女共同参画社会について
- ☆彦根市防災の課題について
- ☆彦根市教育の現状と課題について





ガバナンス21・ リベラル21

質問者 有馬 裕次

所属議員：4名

問 現在、ひこにゃんをめぐり原作者と権利紛争になっている。再三の調停の機会を逃し、地裁での仮処分申立却下や高裁での審尋へと進み、ひこにゃんのイメージが大きく傷つき、子ども達の純粹な想いや販売業者に悪影響ではないか。最初の調停は判断ミスではないか。今後、話し合いで解決できないのか。本訴は市長の個人的な思いではないか。裁判での勝算はあるのか。6人の弁護士は必要か。

問 学校敷地内の教職員の所有車両は、児童生徒の生命を脅かすばかりか学ぶ権利の侵害、また、公有地の無償使用等多くの課題がある。公有地の有償化は公有財産の適正管理から緊急の課題である。新築工事の進んでいる市立東中学校、高宮小学校、グランド用地を拡げる佐和山小学校等はずぐにでも児童生徒の安全確保が必要である。公有地の対応と併せての対策を問う。

Q ひこにゃんイメージを傷つけないか

A 市はひこにゃんを守る義務がある

答 最初の調停は商標使用中止や金銭要求を相手方が取り下げたので応じた。決して甘い姿勢ではない。ひこねのよいにゃん商品との混同で混乱が起きており、話し合いでという状況にない。本訴は市長の個人的な思いではない。今後の裁判には勝算がある。真実を立証するためにはそれなりの弁護士と費用も必要であり、市にはひこにゃんの名誉を守る権利と義務がある。

Q 学校や公有地への駐車の取組姿勢は

A 校内駐車の課題を明確、具体化する

答 学校敷地内における教職員の駐車に対しては、
①通学する児童生徒の安全
②教育活動に支障がない
③有償・無償を含めて公有財産の適正な管理、以上の課題を明確にし、具体的方向を取りまとめる対策として校内外、他の公有地、進入路の変更、民間駐車場等の検討を行ったが、今後教育委員会条件、手続を整備する。公有地の占有使用は原則有償で認識、市全体の対応と同一歩調でと考える。

ほかにもこんなことを質問しました

- ☆平成23年度予算から
- ☆水道部と下水道部の統合について
- ☆市民への生活情報発信について
- ☆生活保護について
- ☆社会福祉協議会への補助金について
- ☆地域包括ケアシステムについて



Q 地域包括ケアシステム 確立のために

問 団塊の世代が後期高齢者に突入していく2025年には、24時間対応の在宅介護、在宅看護できる地域包括ケアシステムの確立を目指している。地域包括支援センターを中学校区に1箇所設置し、住民のニーズにこたえるべきでは。

答 当面は、一層のPRに努めるとともに、地域の福祉ニーズの把握の強化を図っていく。今後、

徳永ひで子



地域包括ケアシステムを確立していくためにも、将来的には、日常生活圏域毎の課題やニーズに対応する地域包括支援センターの機能を市内数箇所配置し、地域との連携をより充実させていく。

A 支援センターを市内数箇所に配置

Q 婚活を支援して 人口の増加を図ろう



馬場 和子

問 若者の結婚願望の希薄化をどう受け止めるか。

答 結婚を望みながら相手に恵まれないのは残念であり親御さんも心配を

問 若者の未婚化傾向を止める手立てを講じては。

答 安定雇用や子育て環境整備・男女参画の意識改革の取組が必要である。

問 若者の定住を促す具体的な方策を考えるべきだ。

答 快適な住環境の提供、充実した学校教育の推進や各種地域活性化施策の展開が定住につながる。

問 婚活支援する窓口を設けて人口増を図るべき。

答 現段階で市として窓口を設けないが、関係団体による出会いの場を設定する検討は必要である。

A 子育て環境整備や安定雇用等で支援

Q 国保料を絶対 値上げしない努力を

問 高すぎる国保料が支払えず、この1年民医連の調査で71人も死亡している。彦根での例はないが、国保料の未納者が年々増えている。国保会計は、国が負担率を減らしてきてから赤字運営になつているのであり、国の負担増を求めたり、繰り入れを行うなど、国保料を絶対値上げしないという最大限の努力で、市民の健康を守るべきだ。

成宮 祐二



答 一般会計からの繰り入れは、国保保険者以外の市民に負担を強いることに繋がるので適当でない。国保料をできるだけ抑制するため、医療費の適正化や収納を増やし、国にも強く要望していく。

A 医療費の適正化や国への要望強める

Q 中学校給食には 市民の合意が不可欠



夏川嘉一郎

問 中学校給食実施を定住自立圏構想内施策とする中、中央センター方式でプランをまとめ中とか。当給食についてはその是非はもちろん、中央集中か自校方式かでも市民意見の大きく分れるところ。

この種の問題は事前の市民意向調査が不可欠と考える。市長見解を問う。

答 中学校給食は私の選挙公約。また、学校給食法でも義務教育諸学校の設置者や、地方公共団体に給食普及を促している。それ故に私は、中学校給食の全校実施を目指すもの。但し、実施形態である集中方式か自校方式かは各位との議論の中で決めたいと考えている。

A 学校給食は私の公約、実施は責務

松本 忠男

問 挨拶、礼節の現状・指導について。

答 言葉遣いの未熟さや、挨拶・礼節は不十分な現状が見られる。教育活動全体を通じて、系統的・発展的な指導を進める。



田中 滋康

問 障がいがある高齢の母と70歳近くの子息が、住宅明渡しを求められスロップある市営住宅に申込みました。入居募集は3回11戸に対して82名の申込み、中でも障がい者が利用しやすい市営住宅申込みは11倍以上の狭き門である。予算を増やして募集戸数を増やす計画は。

答 公営住宅の整備は厳しい財政事情の中、建替えではなく建設年度の古

挨拶・礼節

感謝・道徳心の現状は



食事への感謝には手を合わせない



問 食事前後に感謝して手を合わせ姿勢の現状・指導について。

答 教育委員会は手を合わすことについては指導していないが、食事と作って頂いた方へ感謝の気持ちを込めて、食事前後に「いただきます・ごちそうさま」とあいさつする指導を大切にしている。

問 道徳心の涵養について。

答 年間35時間の道徳の時間と全教育活動を通して、道徳心の涵養を図る。

予算を増やして市営住宅の供給増を



障がい者向け住宅予算確保に努める



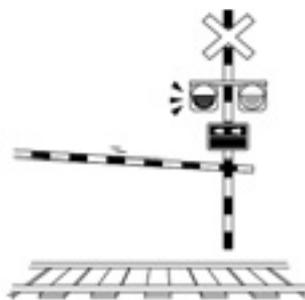
い住宅から順次改善を進めて長寿命化を図る。高齢者住宅の提供やひとり親世帯の優先入居を行い、今後障がい者向け住宅の検討と予算の確保に努め、住宅のセーフティネットの役割を果たす。



辻 真理子

問 岡町神宮踏切は交通の難所であるが改善策は。

答 平成12年から13年にかけて道路の立体化や鉄道の立体化について検討を



岡町の神宮踏切の今後の改善策は



交通量の分散を考え道路計画を検討



行い、道路の立体化が妥当であるとの結論を得たが、総事業費が100億円以上と膨大であることと周辺環境への影響も大きく、事業着手は困難であると判断した。

問 人身事故が起る前に対策を講じるべきではないか。

答 神宮踏切を通過する交通量を分散するため、平成17年度にバナソニック電工前から雨壺山に向けた道路を建設した。今後ともさらに交通量の分散を検討していきたい。

山田多津子

移動手段確保のための予算増額を



利用状況等をみながら協議会で検討



問 地域要求と実態に即した移動手段を提供することが自治体の責務である。愛のりタクシーは公共交通を補完する観点から高額であり一律300



円の定額制とすること。また日々の買い物や通院にも苦慮している旧市内等の実態を踏まえ移動手段確保の為の予算増額が必要であるが見解を問う。

答 持続的に公共交通を維持するには利便性の向上と自治体負担軽減から低額料金設定は市補助金の増額になり困難。また適材適所で輸送実態に応じた路線網の実現が必要で、今後地域や利用者などの声も聞き、公共交通活性化協議会で検討していきたい。



荒神山公園グラウンドの機能向上を

問 グラウンドゴルフ場CDコースの拡張を願う。
答 CDコースについては幅が狭くコースも一部錯綜していることから園路などの改修時に併せ拡張を検討していきたい。
問 雨をしのげる覆いは、現在覆いのある休憩所はない。要望もあることから公園長寿命化計画に位置づけ、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業に組み入れられないか検討していきたい。

細江 正人



▲荒神山公園グラウンドゴルフ場



公園長寿命化計画に位置づけ検討



下水道未整備地域の事業進捗を問う



八木 嘉之

問 下水道事業費の今後の推移について問う。
答 建設事業債の新規発行を抑制しており、当面は現在の事業費ペースを

余儀なくされる。平成23年度から5年間の社会資本整備計画の中で、可能な限り事業費の増額を図り、未整備地域の早期解消に努めていく。
問 流域下水道第2幹線の整備を受け、旭森学区と高宮学区の進捗は。
答 他の未整備地域との均衡に配慮しながら重点的かつ継続的に進め、新たに着手する一団のエリア(概ね15〜20ha)については、5年から6年で完成出来るような計画で進めていきたい。



概ね5年から6年で完成する計画で

ほかにもこんなことを質問しました

☆定住自立圏構想の取組による財源確保に及ぼす効果は

- ☆市立病院医師による分娩再開を
- ☆市内全中学校で給食実施を
- ☆彦根市の新年度予算について
- ☆あと5か月、「地デジ難民」を防ぐために
- ☆預かり広場事業本格実施の取り組みは
- ☆市民に分かる予算書を作る
- ☆市立病院での入院に関する市民の切ない声
- ☆高いCO₂削減と広域連携を考える
- ☆住宅リフォーム制度の拡充を
- ☆小・中学校への空調設備の充実を
- ☆TPP参加の影響は
- ☆公共施設のマネジメントについて
- ☆議会事務局の体制について
- ☆工事中の都市計画道路の早期完成を願って
- ☆情報通信機器(コンピュータ・パソコン)の利活用の高度化に向けて
- ☆安心してかかれる市立病院に
- ☆指定管理者制度の運用について
- ☆中学校給食早期実施の方針は
- ☆市制施行75周年記念事業について
- ☆伝統的建造物群保存地区条例について
- ☆まもなく供用開始されます市道彦根口・川瀬馬場線について



河瀬に健康増進のスポーツ広場を!

問 河瀬に高齢者がグラウンドゴルフ等で交流・健康増進をはかるスポーツ広場を熱望しておられるがどのようにお考えか。
答 身近に広場があることは望ましい。緊急性や必要性を考慮し優先度を考え順次取り組んでいく。
問 犬方町高上には元桑畑の遊休地があるが、これをスポーツ広場に活用する考えはあるか。
答 ご提案の高上は私有

野村 郁雄



地であり初めて聞いたので、設置の見解を述べるまでには至っていない。
問 河瀬にスポーツ広場を実現するにつき考えを。
答 具体的な場所の提案をいただき、十分に受け止め要望としてたまわる。



河瀬の広場は受け止め要望で聞く!

議会改革特別委員会中間報告

2月18日開催

委員会では、議会基本条例プロジェクトの取組経過についておよび来期における常任委員会・交渉会派のあり方について協議しました。前回の本委員会において、議会基本条例の骨子、たたき台を作成するための作業部会を立ち上げることとしましたが、その会議では、会の名称を「議会基本条例プロジェクトチーム」とし、今期内に一定のまとめ・方向を出すため、5回にわたり議論されました。

議会基本条例プロジェクトチームの取組経過については、報告があり、議会基本条例を制定するためには市民の議会に対する思いを知る必要があります。市民アンケートを取ることとしたこと。議員の任期が4月で終わるため取組はアンケート素案のとりまとめまでとし、この素案をベースに来期でアンケートを実施されることを期待すること。

なお、アンケートの配布数や配布方法は、来期も引き続き協議・検討いただくこととしたことが報告されました。アンケート実施については、賛成・反対の立場から意見が出されましたが、議会基本条例を制定することだけが目的ではなく、条例に基づく議会改革が本来の目的であり、そのためのアンケート調査であることを確認しました。

来期における常任委員会・交渉会派のあり方については、来期から議員定数が24人に減数されることに伴い、常任委員会や交渉会派のあり方について、来期の委員に任せるとはならず、今期の間に一定の道筋をつけて来期に申し送るべきであり、この委員会において検討すべきとの議長の方針が確認され、協議しました。各委員から意見聴取の後、採決を行い、常任委員会は3委員会とし、交渉会派は現状のまま3人とする。代表質問は現状のまま2回とすることが決まりました。

議会改革特別委員会

行政視察

平成23年1月19日・20日
京丹後市・加西市

京丹後市議会では、合併を契機に議会も変わるべきことから、平成18年9月に議会改革特別委員会を設置されました。

議会改革特別委員会では、作業部会を20回、特別委員会を37回開催され、議員研修会や市民アンケートを取る中で活性化の取組として議会基本条例を制定、平成20年4月1日に施行されました。

議会の持つチェック機能、政策立案機能を高めるため、議会のあり方も変わらなければならぬとの思いに立った数々の先進的な取組がされてきました。

加西市議会では、平成19年2月に任意の委員会である議会改革委員会を設置され、改革に向けての議論を進める中、議会基本条例の制定を目的として、平成21年3月に議会改革特別委員会を設置されました。

議員研修会、市民アンケート、先進地への行政視察を実施され、作業部会で具体的に条例制定のための作業が進められました。

市民懇談会、14回の委員会と4回の作業部会



を重ね、議会基本条例骨子案を作成するなど取り組みを進め、平成22年6月議会で議会基本条例を制定し、施行されました。今回訪問した京丹後市、加西市は、全国でも有数の議会改革先進都市であり、今後、議会基本条例の制定に向けて議論を進めていく上で、大変有意義な調査となりました。

中学校給食実施のための特別委員会 行政視察

平成23年2月3日 米原市

本委員会では、米原市東部給食センターを訪問し、行政視察を実施しました。

新設された東部給食センターは、整備にあたっての財政面での工夫等がされ、特に、合併特例債を有効に活用したこと、費用を抑制するために設備などの一部をリサイクル活用したこと、また、ランニングコストの抑制策としてのオール電化による光熱費の縮減や自動食洗機の導入による人件費の縮減など大変参考になるものでした。

給食センターを学校給食のためのセンターとしてだけでなく、市民開放型の施設として、子ども達の校外学習の教材として、また老人会やその他の団体、または親子活動としての調理体験、高校生を対象としたお弁当づくり事業など、学校給食に限定せず広く市民が利活用できる施設とされたことについて、センターの位置付けが「子どもと、その保護者のための施設から」市民のどなたもが使っていただけの施設にシフトすることの意義の大きさを感ずることができ、今後、中学校給食の実施に向けて議論を進めていく上で、有意義な調査となりました。

議場コンサートを開催しました

市議会では、会派を超えた議員有志による議会開放推進プロジェクトチームを組織し、市民に開かれた議会づくりを進めています。

その取組の一環として、2月定例会開会日の2月28日(月)に第10回議場コンサートを開催しました。

今回は、コーラスやまびこ20名による女声合唱で「逢えてよかったね」、「We are the world」、「いのちのうた」に加えて、春にちなんだメドレー2曲の歌声をお聞きし、アンコールでは「ドレミの歌」を出演者と観客の皆さんが一緒になって合唱していただきました。議場には、多くの方々にお越しいただ



き、ほのほのとした雰囲気の中で心のもった歌声に楽しいひとときを過ごしていただきました。



第11回

議場コンサート(予定)

日時 平成23年6月13日(月) 13時から

場 所 彦根市議会議場(市役所5階)

出演者 公募(3/15~4/25)による応募者から選考中

その他 詳細は広報ひこねやホームページでお知らせ予定

次の定例会は
6月です

2月定例会は延べ20人が傍聴



本会議の日程(予定)

開 会 6月13日(月)
個人質問 6月20日(月)
個人質問 6月21日(火)
個人質問予備日 6月22日(水)
閉 会 6月29日(水)
いずれも9時から開催予定

委員会の日程(予定)

予 算 6月23日(木)
企画総務消防 6月24日(金)
福祉病院教育 6月27日(月)
市民産業建設

去る3月11日に発生した東日本大震災により被災された多くの方々から心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられました方々のご冥福をお祈り申し上げます。

この被災された自治体の中には、彦根市議会が先進地視察研修で訪問させていただいたところもあり、大変心の痛み思っております。

私たちは日本のすばらしい自然の恩恵を享受しつつも、自然の脅威を目の当たりにしたこの機会に、改めて自然との関わりと安全・安心な社会の構築の必要性を感じるところであります。一日も早く復興されますことを願っております。

編集後記